

古代史セミナー令和5年春期講座のお知らせ

主催 古代史セミナー運営委員会

第1回 「大仏造立にみる日本列島の古代史」

講師 横浜市歴史博物館 館長 東京大学名誉教授 佐藤 信先生

疫病や戦乱が続いた天平の時代、聖武天皇は、鎮護国家の仏教にすがって国家・社会の安定を願い、741年の国分寺建立の詔に次いで743年大仏造立の詔を発しました。

「国銅を尽くし」たこの巨大な仏像は、日本列島各地や東アジアとの多様な連携があって、はじめて実現しました。大仏を通して、列島の古代史を展望したいと思います。

開催日 令和5年3月22日（水）13時30分～15時30分

第2回 「4～5世紀の高句麗と新羅・百済・倭

ー広開土王碑、集安高句麗碑、中原高句麗碑を中心に」

講師 早稲田大学教授 李 成市先生

広開土王碑および、広開土王碑に酷似した内容が記された2014年発見の集安高句麗碑、また1978年に発見された中原高句麗碑について、その後の最新の研究によって解明された新たな事実が多くあります。

広開土王碑の釈文を素朴になぞっていた時代の研究は過去のものになっているという認識を持っています。そのような高句麗碑文の資料的性格や、そこから、どのような歴史を考えていけばよいのかという話をしたいと思います。

開催日 令和5年4月6日（木）13時30分～15時30分

《応募方法》

- ◆ 会場 地球市民かながわプラザホール（JR 本郷台駅 徒歩3分）
- ◆ 募集人員 280人（講座2回出席可能な方、応募者多数の場合は抽選）
- ◆ 受講料 2,000円（2講座資料代含む）
- ◆ 申込方法 往復葉書（一人一通）にて、住所・氏名（ふりかな）・電話番号記入の上、下記宛に郵送ください。
- ◆ 送り先 〒247-0031 横浜市栄区桂台北 20-14 栗原 俊子 行
- ◆ 申込締切 令和5年3月3日（金）（当日消印有効）
- ◆ 問合せ先 鎌崎（クワザキ）090-3540-0930